

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)九勸博多駅前三丁目計画	階数	地上11F
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅前三丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2021年11月17日
敷地面積	1,202 m ²	作成者	花岡 光
建築面積	785 m ²	確認日	2021年11月22日
延床面積	7,820 m ²	確認者	大森 正俊



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 84% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 84%

④上記+: 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 高品質でフレキシビリティに優れた業務ビル 通りの賑わい創出など、地域の魅力向上にも配慮した全体計画		その他 特になし
Q1 室内環境 外壁の開口率を最大限高め十分な自然採光を確保 ゾーン別冷暖選択可能な空調方式を採用 入居者にとって快適な執務環境を実現	Q2 サービス性能 将来の変更にも対応しやすいの自由度の高い内装・設備 方式 入居者の信頼に応える高い耐震性能	Q3 室外環境(敷地内) 道路沿いにゆとりの空間を創出、植栽による潤いを提供
LR1 エネルギー Low-eガラスによる日射負荷抑制 オフィス内で使用するエネルギーを低減	LR2 資源・マテリアル 再生水を活用、衛生器具は省水型機器を採用 躯体材料や内装材にはリサイクル材を採用	LR3 敷地外環境 安全や防犯性に配慮した照明計画

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される